

流山市市民参加推進委員会の評価シート

| | |
|--------------|---------------------------|
| 対象事業名 | 流山市教育振興基本計画（案）・流山市教育大綱（案） |
| 担当課 | 指導課・企画政策課 |

① 市民参加の方法の選択について

| |
|---|
| <p>教育に関する基本的な計画であるため、広く市民の意見を聞くことは非常に大切であり、一部の専門家による審議会を bypass せずに、パブリックコメントと意見交換会（タウンミーティング）を選択したことは評価する。</p> <p>意見交換会に69名が参加したこと、また、パブリックコメントの12件の意見提出から、市民にとって関心の高い案件であり、市民参加に向いている案件であることが推測される。</p> <p>《各委員からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公表されている教育振興計画（案）と教育大綱（案）に基づいた教育行政の在り方について、一般市民に本格的な議論をしてもらうことが目的であるのなら、その旨を周知したうえで、意見交換会、政策提案制度、公募をベースとした会議体による審議など、多面的に意見を求め集約することが必要な案件と思われる。または、できるだけ多くの市民に市の教育行政の考え方や方向性を知ってもらい、意見を述べてもらいたいというのであれば、パブリックコメント、意見交換会は方法的に妥当と考えるが、その周知の仕方と情報提供がややおざなりであったのではないか。 ・2つの手法を選択している点は市民参加条例の規定を満たしているが、市の教育方針を盛り込んだ重要な案件に対する市民参加の手法としては意見交換会、パブリックコメントに加えて審議会（専門的見地の意見聴取）や児童保護者との意見交換会を選択し、多様な手法で実効性を高める必要があったのではないか。 ・パブリックコメント、意見交換会の方法を選択したことは、市民各層の意見を幅広く聴取する観点から評価するが、本計画が学校教育にとどまらず、生涯教育も含まれるため、自治会との意見交換会や既存の生涯学習審議会での審議を行わなかったことに疑問が残る。 |
|---|

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

| |
|--|
| <p>意見交換会は、参加数も多く、開催時間や開催場所についても妥当であったが、開催の日を複数設けるなど、より多くの市民に参加してもらうよう、さらなる工夫が必要であったと思われる。</p> <p>《各委員からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の重要性、内容の深さ、市民への影響、興味を勘案すれば、長期にわたって市民参加を促進するべきと考える。 ・複数の市民参加手法をどう組み合わせるについては、市民参加の課題でもあるが、市民の注意を喚起してより多くの意見を得るため、本事業のように、パブリックコメントと意見交換会をほぼ同時期に行うこともよいであろうが、年末の忙しい時期に行ったことに疑問が残る。特に意見交換会（タウンミーティング）を開催するのであれば、夏休みのような時期も検討されてもよかつたのではないか。 ・学校を通じ、保護者に事業の周知を図り具体的な意見を募ろうとしたパブリックコメントの着眼点は評価するが、施策スケジュールに反映し実践の痕跡が見られず、形式的スケジュールであった感がある。なお、市民との対話も市政全般のタウンミーティングの日程に便乗の感があり、パブリックコメントとの相乗効果に配慮したスケジュールとは考えられない。 ・パブリックコメント、意見交換会は12月に集中して行われているケースが多いが、スケジュールとしては、意見交換会で意見を取りまとめ、それを提供したうえでパブリックコメントを行った方が実りある成果が得られる可能性がある。また、意見交換会が1回限りとなっているが、市民の都合等を考えれば少なくとも2回以上の開催が必要ではないか。 |
|--|

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

| |
|---|
| <p>市民参加の手法の周知方法として校長会への伝達は効果的で適切な方法と考えるが、学校から保護者に伝達されない場合も想定し、学校から保護者への伝達するフローや実施確認のフィードバック体制が不十分であったと思われる。</p> <p>《各委員からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施にあたっては、校長会でパブリックコメントの実施を連絡したことは高く評価できるが、校長→一般教員→生徒、という段階を経て保護者に情報が伝わることを考えると、連絡のための配布資料に工夫を凝らす必要があり、保護者に連絡されたかのフォローがあってもよかつたのではないか。 ・学校を通じて保護者の意見を募る効果期待の適切な施策にもかかわらず、具体的且つ有効的な情報や資料の提供及び実施結果の情報収集、活用など情報の取組に積極性や主体性が感じられなかった。 ・わかりやすい案件であるため、事業内容が市民にうまく伝わっていると考え。なお、資料を持ち帰って読みたいというのは、資料が良いものであったと考察できる。 ・本計画の簡易版を作製したことは評価できるが、計画案のため回収したことは、これは折角前向きに関心を持っている市民への逆効果であり、きちんとした内容への説明とともに、その時点での現状を記した資料の配布を行うべきである。 |
|---|

④ 改善点について

| |
|--|
| <p>《各委員からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長会への伝達は、しっかり生徒や保護者に伝達された場合のみ有効である。そのため、配布物を工夫したり、後追いでどのような形で伝達が行われたなど、チェックするシステムを構築されたい。 ・意見交換会の日程が2か所とも同日に実施していることに疑問が残る。働く保護者が多くなってきているため、土、日曜日や平日の夜など様々なバリエーションにより日程を増やすべきである。 ・50ページにもわたる資料に疑問を感じる。意見交換会当日は全員に配布できるレベルの資料を作り配布し、詳しい内容はホームページを活用する等「ただ作る資料」でなく「活用される資料」の作成を検討されたい。 ・総合計画テーマ（まち・ひと・しごと創世戦略）と同様、市民参加の目的、狙い等を明確にしたうえで、方法、スケジュール、提供情報等をプランニングすべきと考える。 ・市民参加推進の取組スタンスを見直し、実効に視点を置いた市民参加の施策と推進策の再構築を検討されたい。 |
|--|

⑤ 当該事業の評価について

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A | + | B | + | C | + | D |
| | - | - | | - | | - |